

ガバナー月信5月 しらこぼと11号

2010-11年度 国際ロータリー第2770地区



井橋ガバナーが東日本大震災で避難された双葉町の町長を訪問し、義援金350万円を寄附した（さいたまスーパーアリーナにて）。原発事故による避難指示で福島県双葉町の町民が1500名が役場ごと、さいたまスーパーアリーナに避難したが、3月29日、30日と新天地、加須市へと移動し長期生活となります。

【第8グループ紹介】

がんばれ日本
この思いやりを引き継ごう

“今から、ここから!!”

日本復興の為に

仲間づくりをしよう

自分のグループ、自分のクラブ、自分の手で

目標 368 増員 175 残 193

会員増強維持部門委員長 梶間順子(浦和中RC)



越谷市日本文化伝承の館「こしがや能楽堂」

こしがや能楽堂は、日本建築の粋を集めた建物で、隣接する日本庭園「花田苑」と調和した姿は日本文化の美と心が象徴され、人々の心を癒してくれます。本施設は、能楽はもとより邦楽・日本舞踊・詩吟・茶道・華道等の伝統芸術の拠点施設として、また地域コミュニティを促進する場として市民文化の向上に寄与していくことを目的としています。

会員増強目標28頑張ろう

ガバナー補佐：神谷 治善（越谷南RC）

会員増強応援団：坂巻幸次PG（越谷） 吉田豊治PG（越谷南RC）

井橋吉一ガバナー（越谷RC）

越谷・越谷南・越谷北・越谷東・越谷中
(紹介グループ 順不同)



東日本大震災支援活動報告

ガバナー 井橋 吉一

[3・11・2・46]ー3月11日午後2時46分に東日本を歴史上最大の大地震と大津波が襲っておよそ1か月が経過しました。被災地は支援活動によって少しずつ回復に向かっています。

しかし被災した福島原子力発電所の放射性物資の漏れ対策は一進一退が続いています。また多くの行方不明者が、連日の搜索活動にも関わらず搜索が難航して発見が遅れています。震災後、国内は元より世界各国からの、各種専門支援チームが来日、または、義捐金・支援物資が届いています。同様にロータリーも国内、世界各国から支援の手が寄せられています。

この間に2770地区内は、地区およびクラブで被災地に支援活動を行っています。

具体的には、

1. ガバナー会による全国ロータリー・クラブの義捐金活動。第1回目の3月31日に全国で約4億円に達して、4月1日に取敢えず一部を被災地区に送金しました。因みに2770地区は約1,800万円をガバナー会に送金しました。2回目は4月25日に予定しています。
2. RIの「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」が3月14日に開設され、2770地区よりDDF（地区補助金）から3万ドルを拠出しました。

3. 2770地区の浦和駅東口と西口の駅前で、地区役員スタッフと第1～第4グループのロータリアン100名による募金活動を、3月28日と30日で実施して53万円の募金を頂きました。
4. 2520地区（宮城・岩手）に、DDFの新地区補助金とロータリアンの善意により水、灯油、自転車、紙おむつ、目薬、衣類等の支援物資を宮城の塩釜、岩手の水沢の2回に亘り財団委員会の委員の協力で届けました。
5. 新都心のさいたまスーパーアリーナに、原子力発電所事故で双葉町の役場ぐるみで避難している1,500町民に、遅れている公的支援金に先駆けて、第1～第4グループのロータリアンと地区の義捐金350万円を双葉町長に3月30日手渡しました。

以上が震災から1か月ほどした地区及びクラブによる支援活動です。今後も被災地区に継続して支援してまいります。

この他にクラブ独自で支援活動を行っている多くの事業があると思います。

その活動事例をガバナー月信で紹介しますので投稿して下さい。

IM 報告

「愛」を持って地域社会に奉仕をしよう。

第4グループガバナー補佐 小野寺 芳彦（大宮北東RC）

第4グループのIMが2月15日（火）大宮ラフォーレ清水園で、井橋ガバナーをお迎えして行われました。今年度のIMは実行委員会の総意で「参加」「奉仕の理想の学習」「親睦」の3点に絞り具体化する事にしました。

第1部では社会奉仕についてテーブルディスカッションを行い情報交換をしました。第2部記念講演は高知県梼原町で「龍馬脱藩の道」でボランティアガイドをしている下元秀俊氏を招いて坂本龍馬の歩んだ人生について講演をしていただきました。龍馬ファンにとっては喜んでいただけたと思います。

第3部合同懇親会はグループのロータリアンが親睦をはかる年1回の機会です。テーブルには各クラブから1名以上のロータリアンがいるようにしました。ここでも有意義な情報交換がされたと思います。「アジーズ」のベリーダンスも好評でした。

会長・幹事はじめ実行委員の皆様へ感謝を申し上げます。



大宮中央RC 創立25周年記念式典

創立25周年記念実行委員長 星野 時夫（大宮中央RC）

去る3月3日、大宮中央RC創立25周年記念式典がパレスホテル大宮で行われました。アトラクションではクラブ会員の奥様方、家族、米山学生によるコーラスで韓国のグループ歌手カラのミスター、AKB48ヘビーローテーションなど、大好評でした。



国際ロータリーからの表彰

当地区の3名が国際ロータリーより表彰されました。詳細は以下の通りです。

超 我 の 奉 仕 賞

パストガバナー

高浜 彰男（幸手RC）

毎年150名までのロータリアンに贈られます。



ロータリー財団特別功労賞

パストガバナー

田中 徹夫（岩槻東RC）

ロータリー財団から授与される最高の賞です。



ロータリー財団功労賞

パストガバナー

中村 靖治（吉川RC）

本賞は1度限り贈呈されるものであり、毎年、200名に満たないロータリアンに贈られます。



2011～2012年度 「地区ロータリー財団補助金管理セミナー」 が開催されました。

次年度ロータリー財団部門委員長 鈴木 英男（越谷北RC）



2月22日（火）に「さいたま共済会館」において、標記セミナーが18時30分点鐘で開催されました。

当日は井橋ガバナー、三國ガバナー・エレクト、北次年度地区研修リーダーにもご出席を賜り、クラブ関係では会長エレクト、次年度社会奉仕委員長、次年度国際奉仕委員長、次年度ロータリー財団委員長の方々の出席が対象でした。次年度カバナー補佐、次年度各部門委員長、地区委員皆様の出席も含め総勢262名の登録を頂きました。

今回はロータリー財団部門の地区補助金の他に、国際奉仕部門からも国際奉仕プロジェクト補助金の説明がありました。両部門からは「未来の夢計画」による新地区補助金とグローバル補助金について、次年度の活動内容が示されました。特に、新地区補助金について、ロータリー財団部門は地区補助金46,000ドル、国際奉仕部門については国際奉仕プロジェクト補助金

25,000ドルの各クラブへの配分が示され、申請方法について詳しく説明がありました。

グローバル補助金についても条件はあるものの、随時、受付けをしているので地区の方に相談をして頂きたい旨、のお願いをさせて頂きました。

また、世界平和フェロー第8期生として2009年9月にイギリスのブラッドフォード大学に留学し、昨年の12月に帰国された三浦曜子さんから、イギリスでの留学活動について映像を使っ



ての報告があり、今回のセミナーに花を添えて頂きました。

最後に質疑応答があり、そして北次年度地区研修リーダーから講評を頂き無事に終了することが出来ました。

お忙しい中をご出席頂きました皆様に感謝と御礼を申し上げます。





第11回 ロータリーの友

ロータリーの友地区委員 瀧田 和雄（岩槻中央RC）

『ロータリーの友』の卓話にお邪魔して

今年度に友地区代表委員を拝命して「情報の泉である友の活用を」というスローガンを掲げまして「ロータリーの友」のPRに努めさせていただきましたが残り僅かとなりました。この間約20のクラブの皆様から卓話の依頼を頂きまして楽しくお話をさせていただきました。あるクラブでは年度計画書に例会プログラムとして当初から計画しておられました。又、あるクラブからは1週間前に電話で依頼のあったクラブもありました。

卓話にお邪魔して感じたことは、やはり個人的にもクラブ雑誌委員長さんにおいても温度差が感じられることでありました。あるクラブの雑誌委員長さんは「友」の目次を3Aに拡大して重点をPRしておられました。又、あるクラブでは毎例会5分を「友」の時間に割いていただいております。ほとんどのクラブでは毎月第一例会で「友」の紹介をされておられました。クラブ訪問で皆様に「友の愛読者」になる秘訣を伺いましたが、結論は「投稿する事が一番の近道である」ということでありました。自分で投稿した記事が何時掲載されるかという期待感と、掲載された時の喜びは本人でなければ判らないものです。

私はPETSをはじめ、地区協議会、全グル

ープ会長幹事会で「友についての家庭集会」の開催をお願いしてまいりましたが、大変残念ではありましたが実施して頂いたクラブの御報告に接する事が出来ませんでした。この点につきまして皆様のクラブにおいて年度を越えても是非実行して下さるようお願いをしておりました。『友』に関心を持っていただくにはこの方法がベストであると考えからであります。ご協力をお願いします。

「ロータリーの友」の地区代表委員としての役割は次のとおりであると考えます。

- 1：「友誌」の購読のお願い
- 2：「友誌」への投稿のお願い
- 3：各クラブの活動を日本中のクラブが注目している
- 4：「友誌」をロータリーの情報誌としての活用をお願い

以上の4つが私に課せられた役目であるとの認識から、出来るだけその点を重点的にPRに努めてまいりました。

今後の卓話の予定ですが5月は予定が立ちませんが、6月は十分余裕がありますので若し卓話を御希望のクラブがおありでしたらお申し出頂ければ喜んでお邪魔いたします。プロジェクト・スクリーンはご用意できます。

情報の泉である友の活用を

東日本大震災に関するクラブでの対応をお知らせください

この度の震災に対して皆様のクラブでの支援活動を出来れば写真を添えて地区事務所まで投稿ください。順次月信で特集を組む予定です。併せて友事務所へもお願いします。

投稿内容 1：募金活動 2：物資支援 3：海外クラブからの支援 4：その他
地区事務所 FAX 048-827-0011 E-mail: ri2770-184@plum.plala.or.jp
ロータリーの友事務所 FAX 03-3436-5956 E-mail: hensyu@rotary-no-tomo.jp

**連載****こんにちは、職業奉仕委員会です No.10**

職業奉仕委員長 川上孝次郎（藤RC）

第2次世界大戦中、各国のロータリーは次々と国際ロータリーを脱退していきました。しかし、それらの国でロータリーの灯が消えたかといえば、決してそのようなことはありませんでした。各国のロータリアンたちは、脱退後もロータリーの精神をもち続けていたのです。今ほど通信事情がよい時代ではありませんでした。また、戦争が互いの連絡を不自由にしていたに違いありません。でも、脱退せざるを得なかった国々のロータリアンたちが、名称や形を変えながらも例会をもち続け、ロータリーの精神を忘れていないことは、創始者ポール・ハリスの耳にも入っていたことでしょう。そして、友人同士が敵味方に分かれて戦わなければならない戦争を愁い、以前のように多くの国々のロータリアンたちが帰ってくる日を、心待ちにしていたのだと思います。

1940年代に入ると、ロータリー幹部の多くは終戦後にロータリーができる援助について検討し始めていた。ロータリーが国際奉仕を綱領に加えてから20年が経過した今、国際奉仕が切に求められていた。ロータリーは今や「アメリカの組織」とはみなされなくなっていた。明らかに世界に会員基盤を有し、多様な国々の代表が指導者の地位に就いていた。「ロータリーには戦車も、軍隊もなく、人々に終戦を強制する手段はない。しかし、戦争が終われば（そして戦争は必ず終わる）、その時こそロータリーは輝くことができる。」とイングランド、ウィンザーのウィリアムC.カーター1973-74年度RI会長が数年後に述べている。

銃声が止む頃にはポール・ハリスは高齢になっていました。彼は自分の構想が世界中に広がるのを見た。1945年の時点でロータリー・クラブ数は5,441、会員数は247,212人であった。親睦、寛容、倫理をたゆまず唱道してきたポールは、こういう基本的な人間の礼節が、戦争と、残酷な流血と、憎悪に満ちた宣伝工作によって、ずたずたに引き裂かれるのを見て嘆いた。しかし、78歳の生涯の終わりに近づいた1947年に、ポールは喜びも味わったに違いない。ロータリーは生き残ったばかりでなく、成長したのだ。その存在を揺るがす3つの難関は、ロータリアンに自分たちが誰であり、何を支持しているのかを吟味させるきっかけとなった。ロータリー組織は、そのための苦難や戦いに甘んじ、命すら捨てる価値のあるものか？ ポールは——そして他の多くの勇敢なロータリアンも——「その通りである」と揺がぬ確信を持ってこの世を去っていった。

1945年3月グアムのロータリークラブが国際ロータリーへ復帰したのが被占領地で復活した最初で、同じ年にフランス、ベルギー、オランダ、ノルウェー、フィリピンにある66クラブが復活し、1946年にはシンガポール、上海、香港、ラングーン、アテネ、およびチェコスロバキアの6クラブが復活した。

枢軸国から最初に帰ってきたのはイタリアのクラブで、ルクセンブルク、マラヤ連邦、ギリシャ、ビルマ、シャム（タイ）、蘭領インドおよびトリエステなどの被占領国からも続々とクラブが復帰してきた。



連載

第11回ロータリー情報ニュース

管理運営部門

長期計画・ロータリー情報委員長 鈴木 操 (越谷RC)

5大奉仕の第1部門である「クラブ奉仕」について、ロータリークラブ定款では、「クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。」と記述されております。この文面ではちょっとわかりにくいので、これを企業組織に例えてみますと、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕は営業を担当する部門であり、クラブ奉仕はその営業部門を支える管理部門に相当すると言えるのではないのでしょうか。

企業では、営業部門と管理部門がお互いに

支え合いながら、企業として最大の成果が得られるように、運営を図って行きますが、ロータリークラブにおいても「クラブ奉仕部門」は、企業における管理部門と同じような役割が期待されております。CLPの導入で「クラブ奉仕」部門は「クラブ管理・運営」部門と称されるようになり、当部門の機能がより明確となりました。クラブの副会長が担当の役員・理事として、「クラブ奉仕」を統括しているクラブが多いようです。

文庫通信 (283号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の資料より

- ◎「ロータリーへの道〔三訂版〕」 ポール・ハリス 著;柴田實訳 成田RC 2011 372p
[申込先:成田RC FAX (0476)33-8786]
- ◎「ロータリーの日常の知識」 三木明訳 2010 83p (A Talking Knowledge of Rotary)
[申込先:三木明 FAX (079)223-2477]
- ◎「決議23-34について」 山崎 勝 2010 32p (D.2720ガバナー月信総集編)
[申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

- ◎「職業奉仕の目ざす所」 勝野露観 2010 12p(職業奉仕その心と今日的役割/D.2640)
[申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- ◎「ロータリアンの職業宣言について考えることー『職業奉仕の現在的意義』」 北岡満 20104p (職業奉仕その心と今日的役割/D.2640)
[申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- ◎「『四つのテスト』の解釈について」 辻林俊彦 2010 2p(職業奉仕その心と今日的役割/D.2640)
[申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- ◎「ロータリー入門書2010~2011年度版」 前原勝樹・重田政信 2010 197p
[申込先:北斗事業出版 TEL (03)5207-6681]
- ◎「ロータリークラブ 簡単図解」 鈴木章夫 D.2520 [2011]12p
[申込先:ロータリー文庫]

- ◎「カンボジア・ベトナム海外研修」 柏木希予 2010 1p (D.2650インターアクト海外研修報告) [申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時~午後5時
休館=土・日・祝祭日



ロータリー財団

大口寄付 19,100 \$
M・P・H・F竹ノ谷光美
(川口南)
平成23年 4月 7日

M・P・H・F(6)

田中雪心
(蓮田)
平成23年 2月17日

M・P・H・F(4)

石井忠晴
(戸田西)
平成23年 2月28日

M・P・H・F(2)

伊藤公仁
(戸田西)
平成23年 2月28日

M・P・H・F(2)

阿部和夫
(川口南)
平成23年 4月 7日

M・P・H・F(1)

本橋 潔
(戸田西)
平成23年 2月28日

M・P・H・F(1)

井上 亮
(幸手中央)
平成23年 3月23日

P・H・F

青木利明
(桶川イブニング)
平成23年 1月28日

P・H・F

寒河江すみ子
(桶川イブニング)
平成23年 1月28日

P・H・F

中村勝美
(桶川イブニング)
平成23年 1月28日

P・H・F

湯尾茂夫
(桶川イブニング)
平成23年 1月28日

P・H・F

和久津慶治
(桶川イブニング)
平成23年 1月28日

P・H・F

張ヶ代宜広
(幸手中央)
平成23年 3月23日

P・H・F

松本貞雄
(幸手中央)
平成23年 3月23日

米山奨学会

米山功労者メジャードナー(12)

染谷良雄
(吉川)
平成23年 3月31日

米山功労者メジャードナー(11)

大熊 進
(越谷南)
平成23年 2月28日

米山功労者メジャードナー(10)

日吉憲一
(上尾北)
平成23年 3月25日

米山功労者マルチプル(5)

玉井 亨
(戸田イブニング)
平成23年 2月28日

米山功労者マルチプル(3)

伊藤公仁
(戸田西)
平成23年 2月28日

米山功労者マルチプル(2)

中野政廣
(蓮田)
平成23年 2月17日

米山功労者(1)

芝田佳三
(幸手中央)
平成23年 3月23日

米山功労者(1)

松本貞雄
(幸手中央)
平成23年 3月23日

米山功労者(1)

無量小路俊宏
(幸手中央)
平成23年 3月23日

新会員

藤田誠二
(大宮シティ)
平成22年11月10日入会
(株)フジハウジング
不動産コンサルティング成川勇一
(大宮シティ)
平成23年 2月 2日入会
(株)平和観光
タクシー業星野正男
(蓮田)
平成23年 2月 6日入会
星野工業(株)
土木工事飯田スウミン
(大宮シティ)
平成23年 3月 2日入会
こりあん花郎
韓国料理店金田仁志
(久喜菖蒲)
平成23年 3月17日入会
(株)埼玉団扇
贈答品販売齊藤美津枝
(久喜菖蒲)
平成23年 3月17日入会
(株)きのえね
料理割烹

訃報 ◆ 謹んでお悔やみ申し上げます。

水上洋洲朗 様
(川口北東)
平成23年 3月18日
享年78歳青木並五郎 様
(越谷南)
平成23年 4月 6日
享年90歳

グループ	クラブ名	2010年 7月1日現在		当月末 会員数		増減	目標 新会員	通算 新会員	当月		通算 出席率 順位
		内女性		内女性					出席率	順位	
第一グループ	浦和	100	0	100	0	0	5	5	83.17	34	32
	浦和東	80	2	78	2	−2	6	2	91.07	23	8
	浦和南	33	0	32	0	−1	6	0	87.36	20	28
	浦和中	40	3	39	2	−1	3	1	82.83	24	15
	浦和ダイヤモンド	21	9	21	9	0	3	1	89.28	28	19
	第1グループ計	274	14	270	13	−4	23	9	86.74		
第二グループ	浦和北	72	4	71	3	−1	10	3	97.52	2	2
	さいたま中央	48	2	48	2	0	3	2	74.31	58	53
	浦和西	12	1	17	2	5	5	5	80.85	67	48
	浦和北東	40	1	44	1	4	3	4	80.95	48	58
	さいたま新都心	38	0	40	0	2	2	3	91.02	5	7
	第2グループ計	210	8	220	8	10	23	17	84.93		
第三グループ	大宮	52	0	52	0	0	8	7	78.62	40	50
	大宮南	33	4	38	5	5	5	5	81.57	49	51
	大宮中央	49	0	47	0	−2	8	4	80.61	38	62
	大宮南東	7	2	8	2	1	3	1	78.10	61	65
	大宮シティ	55	6	61	6	6	8	8	80.67	35	36
	さいたま櫛	16	0	18	0	2	5	2	77.78	26	43
	第3グループ計	212	12	224	13	12	37	27	79.56		
第四グループ	大宮西	42	0	56	0	14	5	18	69.26	75	67
	岩槻	29	4	29	4	0	3	1	51.72	33	78
	大宮北	23	1	22	1	−1	5	1	74.51	1	26
	大宮南西	13	1	12	1	−1	5	0	54.16	68	77
	大宮東	36	0	36	0	0	5	3	88.97	6	6
	岩槻東	28	1	29	1	1	5	1	89.65	76	52
	大宮北東	18	2	17	2	−1	5	1	82.35	46	39
	岩槻中央	16	0	14	0	−2	4	0	83.33	59	42
	第4グループ計	205	9	215	9	10	37	25	74.24		
第五グループ	上尾	39	0	40	1	1	5	4	80.00	64	66
	鴻巣	30	0	29	0	−1	5	0	88.74	9	23
	桶川	24	0	24	0	0	5	0	76.72	66	73
	上尾西	42	0	44	0	2	5	2	84.22	37	17
	北本	7	0	9	0	2	3	2	83.60	60	47
	上尾東	20	0	19	0	−1	2	0	66.25	7	63
	上尾北	27	0	25	0	−2	2	2	94.79	3	1
	鴻巣水曜	33	3	33	3	0	5	0	87.12	11	37
	桶川イブニング	15	1	17	1	2	2	2	0.00	52	75
	第5グループ計	237	4	240	5	3	34	12	73.49		
第六グループ	春日部	40	0	41	0	1	5	1	84.37	29	9
	杉戸	24	1	25	1	1	5	2	86.66	71	31
	春日部西	36	3	37	3	1	5	2	96.00	57	33
	庄和	20	0	19	0	−1	2	0	92.10	25	13
	春日部南	28	5	30	5	2	4	2	66.00	73	69
	春日部イブニング	21	1	21	1	0	5	0	92.86	39	24
	杉戸中央	24	0	25	0	1	3	2	80.00	62	64
	第6グループ計	193	10	198	10	5	29	9	85.43		

グループ	ク ラ ブ 名	2010年 7月1日現在		当月末 会員数		増減	目標 新会員		通算 新会員		当月		通算 出席率 順位
		内女性		内女性					出席率	順位			
第七グループ	幸 手	42	1	42	2	0	5	2	86.30	41	34		
	蓮 田	31	0	34	0	3	10	4	88.23	53	61		
	久 喜 菖 蒲	56	3	58	4	2	5	2	81.03	43	45		
	栗 橋	14	0	13	0	−1	2	0	83.93	47	60		
	幸 手 中 央	22	1	24	1	2	5	2	85.42	74	46		
	第7グループ計	165	5	171	7	6	27	10	84.98				
第八グループ	越 谷	81	1	85	2	4	20	9	70.50	42	25		
	越 谷 南	46	2	52	3	6	5	7	70.68	77	68		
	越 谷 北	52	0	53	0	1	5	2	85.84	15	29		
	越 谷 東	47	6	48	6	1	3	5	89.44	14	3		
	越 谷 中	15	1	14	1	−1	5	0	73.07	63	57		
	第8グループ計	241	10	252	12	11	38	23	77.91				
第九グループ	草 加	21	2	19	2	−2	5	0	67.30	79	79		
	ハ 潮	46	5	48	4	2	6	3	80.74	27	27		
	草 加 南	10	1	11	1	1	5	2	72.90	68	70		
	ハ潮イブニング	24	1	25	1	1	2	1	80.00	36	18		
	草加イブニング	11	0	11	0	0	5	1	93.94	11	14		
	ハ 潮 中 央	17	0	17	0	0	5	1	83.82	51	72		
	草 加 中 央	21	0	24	0	3	2	3	80.20	13	35		
	ハ 潮 シ テ ィ	9	0	9	0	0	3	0	81.50	68	59		
	草 加 21	8	3	8	3	0	2	0	79.17	31	10		
	第9グループ計	167	12	172	11	5	35	11	79.95				
第十グループ	吉 川	28	1	31	1	3	5	3	78.58	54	56		
	三 郷	29	2	30	2	1	5	1	84.47	30	41		
	三 郷 中 央	19	0	18	0	−1	5	0	75.44	10	44		
	三郷ウェンズデー	20	2	20	2	0	5	0	83.75	7	16		
	松 伏	12	3	12	3	0	5	1	87.50	31	30		
	第10グループ計	108	8	111	8	3	25	5	81.95				
第十一グループ	川 口	83	11	84	11	1	8	3	67.85	72	74		
	鳩 ケ 谷	27	0	27	0	0	5	1	85.20	16	22		
	川 口 東	18	2	21	2	3	3	3	85.38	22	20		
	川口・鳩ヶ谷武南	29	2	28	2	−1	3	0	60.10	78	76		
	川口モーニング	26	0	27	1	1	5	2	88.89	19	11		
	川 口 南	31	4	32	4	1	3	1	64.85	80	80		
	鳩ヶ谷シティ	14	1	15	1	1	2	1	80.36	4	5		
	第11グループ計	228	20	234	21	6	29	11	76.09				
第十二グループ	戸 田	51	5	54	5	3	3	4	78.70	65	54		
	蕨	29	1	27	1	−2	5	0	91.17	17	12		
	川 口 西	27	3	27	3	0	3	1	82.00	55	55		
	戸 田 西	30	3	31	3	1	1	1	80.21	50	38		
	川 口 北	36	2	37	2	1	5	1	91.07	21	21		
	川 口 北 東	27	3	31	5	4	5	6	70.25	44	49		
	川 口 中 央	13	1	13	1	0	3	1	95.84	18	4		
	川口むさし野	20	1	21	1	1	3	1	71.09	56	71		
	戸田イブニング	20	0	21	0	1	3	1	76.25	45	40		
	第12グループ計	253	19	262	21	9	31	16	81.84				
地 区 合 計		2493	131	2569	138	76	368	175	80.03				

東日本大震災・世界最大の災害

2011年3月11日14時46分、福島県沖でマグニチュード9.0の世界最大の地震が発生。のち、青森・岩手・宮城・福島・茨城・千葉6県に、大津波が押し寄せ世界最大の被害となり、世界136カ国、39の国際機関にて支援が拡がりました。



『浦和駅前で街頭募金を』

東北関東災害の支援の一環として、3月28日と30日の二日にかけて、浦和駅前で街頭募金を行った。この度の災害において我が地区ではいち早く全クラブがクラブ内での募金を実施。現在ガバナー会で配分を検討中であるが、井橋ガバナーの起ったの思いから今回の街頭募金の実施となった。当日は浦和地区のクラブ有志ほか、多くの地区役員に御参加いた

だき、浦和駅西口と東口に分かれ募金箱を手に通勤帰りの人たちに声を噓らして支援を呼びかけた。2日間で合計531,675円のご協力をいただき、小さな子どもからお年寄りまで多くの市民の善意に、参加したロータリアンから『本当の善意がひしひしと感じられた。これからも数年に亘って復興まで時間がかかるはずだ。これからも引き続き、こうした活動を絶やすことなく行わなければならない』との声が飛び交っていた。



『塩釜に支援物資を送る』

この度の東北関東振災の緊急支援として第2770地区が第2520地区ロータリー・コーディネ

ーターの桑原様、ガバナーの楢山様からの要請で実施された。これは我が2770地区のDDFのなかの新地区補助金で当初ケニアに送る予定であったものを楢山ガバナーからの依頼品に変え



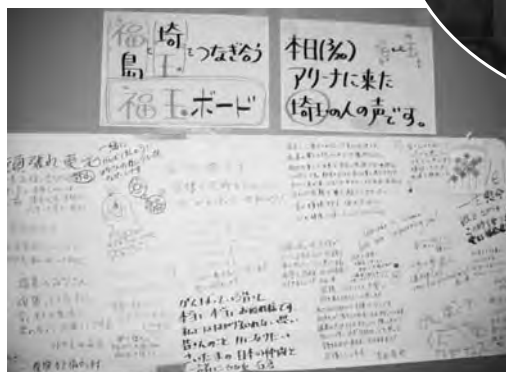
たものである。灯油1000リットルはじめ
タオル、食糧、水、乾電池などに加え会
員の善意の品が続々と集まり、緊急を要
するものを大型トラックに満載して去る
3月26日塩釜に向けて出発。道路事情で
末端の被災地まで直接届けることが出来
ないため、桑原ロータリー・コーディネ
ーターの倉庫に無事届けることが出来た。
実際に被災した現場まで向かった会員の
目に映ったものはまさに惨状そのもので、
声も出なかったとのことであった。一日
も早い復興に『我々ロータリアンが出来
ることは何か』が問われている。



『原発避難町双葉町に義捐金を』

原発事故による避難指示で福島県双葉町の町
民1500名が役場ごとさいたまスーパーアリーナ
に避難している。我が地区の第1～4グループ
のガバナー補佐が現地に赴き井戸川双葉町長と
面談。『生き延びるだけで精いっぱいだ。今後の
町の行く末が心配』との声にグループとして

何ができるかを協議。グループ内全ロータリア
ンの善意の募金をすることに決まり、30日井橋
ガバナーと共に赴き義捐金を手渡した。『本当
にありがたい。皆さんの善意に報いるためにも
町民一丸となって復興に向けて頑張るのでこれ
からも引き続き支援をお願いしたい』との感謝
の言葉があった。



日本大震災支援募金活動

幹事 森川 昌紀 (川口北RC)

川口北ロータリークラブ (菅祐伸会長) は、4月3日 (日) 蕨駅東口と西口に分かれて2770地区よりのぼり旗と募金箱をお借りし、「東日本大震災支援募金活動」を行いました。

当日は、季節はずれの北風が吹き真冬並の寒さの中、川口北高校の先生・生徒の皆様、当クラブの交換留学生達とご家族の皆様方、当クラブの会員・ご家族の方々等、大勢の方々に参加していただきました。



被災されている方々に何か出来る事は無いのか、被災地の方々の為に少しでもお役に立てればと「今、私たちに出来ることをしたい」と思いを一つにして皆、精一杯の声を出して街頭募金活動を行いました。

おかげさまで、皆様方の善意の義援金が380,780円も集まりました。

義援金募金をしていただいた蕨駅ご利用の皆様方からのあたたかいご協力を頂きましてありがとうございます。心より厚く御礼を申し上げます。そして、1日も早い復興を心より願います。



《東日本大震災の義援金の実施について》

庄和RC

平成23年3月23日 (水) に庄和中央病院にて、継続事業としております、第6回献血事業を実施致しました。受付に義援金受付場所を設けまして、献血者の皆様に義援金を呼び掛け、お願いを致しました。



献血受付者……139名
義援金……………20,000円でした。



姉妹クラブ台中港北RCに心からの感謝を!!!

会長 株竹 眞次 (越谷東RC)

この度の大震災にあたり、遠い台湾台中港北RCよりお見舞いの電話を戴くと同時に、100万円という多額の義援金をお送り戴いた事に感謝を申し上げますと共に、我がクラブでも義援金を募り地区へ合わせて200万円を送金致しました。

被災された皆様の1日も早い復興を両クラブ会員と共に心よりお祈り申し上げます。



東日本大震災支援募金活動

社会奉仕委員長 安濃 和正 (越谷RC)

この度の東日本大地震により被害を受けられました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

世界中のロータリアンより相当額の義援金が寄せられていると聞きました。連日のニュース等で報じられていますように未曾有の災害であります。少しでも多くの義援金を長期的に被災地にお送りしなければと思い、私たち社会奉仕

委員会といたしましてもローターアクトと共同にて越谷駅で4月1日より街頭募金をはじめました。

今後、金曜日の夕方1時間半位 越谷駅・新越谷駅交互に活動をしてまいりたいと思います。



避難者への支援

会長 小山 寿行（幸手RC）

幸手クラブの所属する第7グループではIM中止に伴い、登録料から必要経費を差し引いた金額を義援金としてガバナー事務所宛に送金することとなりました。概算段階ですが、概ね20万円前後になると思います。

これだけの災害ですので、わずか20万円だけの義援金というわけにはいかないのですが、幸手市には福島からの被災者が多数きており、その方たちへの直接の支援を優先させたいと考えております。現在幸手にお越しの避難者たちは、

4月から食べるお米がなくなる状態になっており、幸手クラブでは社会福祉協議会から助けを求められております。早速、社会福祉協議会と打ち合わせしましたが、毎週150kg、月ベースで600から700kgの米が消費されますので月額20万程度がかかりそうです。また、期間もいつまでこの状態が続くかも分かりませんので予算がいくらあっても足りない恐れもあります。当面、公的補助がなされるまでは支えていければと考えております。

なお、姉妹クラブの桃園クラブ（台湾）からも義援金の申し出がありました。これも幸手クラブの支援する被災者への食料支援に当てさせていただきます予定です。

職業を通じて社会奉仕

原 美光（越谷東RC）

浅見 富司雄（越谷RC）



3月27日より3月31日までの間、東北関東大震災バイク隊として被災地宮城県石巻市にてバイクを使用し避難所と災害本部との連絡小物配送のお手伝いをする事が出来た。ク

ラブから預かっていった支援のマスク2700枚も被災地にて配ることも出来た。



2011年4月2日仙台青葉クラブ訪問

会長 坂下 利夫（浦和中RC）



女川町 御前浜避難所
避難所（2階建）の屋上に民家の
屋根部分がのっている

朝6時浦和を出発し、岩槻ICから一路仙台を目指した。訪問したメンバーは坂下会長・森田幹事・小嶋会員・宮島会員・小宮会員の5人。

東北自動車道は福島県内に入ると修復した跡がまだ新しく、ところどころで段差を感じることが震災の被害の大きさを想像させるようだった。

10時30分ホテルメトロポリタン仙台に到着した。仙台青葉RCでは鈴木会長をはじめ、早坂会員・山家会員・三浦会員・武田会員・大江会員そして阿部会員が迎えてくれた。友好クラブの会員の元気な姿を見ることができたことは、ことのほか嬉しいことだった。

今回の活動のきっかけになったのは、阿部義浩会員が震災の当日に女川に母親を探しに行ったときに現地の人たちといろいろと話したことだった。母親の無事が確認されると翌12日に物資を現地に届けに行ったということだった。女川町立女川第3小学校御前分校というところに90人、保福禅寺に120人が支援物資もなく孤立無援の状態だった。津波で濡れた状態のまま逃げてきたため、寒さから低体温症になり亡くなる人もいたという。現地での食料は届けるもの以外はなかった。現地での生声を聴いて必要な支援物資を届ける活動を始めた。

とはいえ、必要なものを用意するには個人では限界があるので、鈴木会長に相談することにした。ここからプロジェクトが始まった。

仙台青葉RCの会員ですら被害が



女川町 御前浜避難所

甚大な会員もいて、連絡をするにしても限りがある中、「明日の朝までに物資を阿部さん宅まで必要なものを持ってきてくれ」という連絡で、連絡を受けた会員があわてて物資を持参するというような状況だったらしい。

3月いっぱい石巻の10kmくらい手前で携帯の電波がなくなるので、被災地の人たちとの電話でのやり取りができない状態が続き、被災地でのニーズは行ってみないとわからないという状況だった。

3月21日になって初めて仙台青葉RCとして現地を訪問した。そしてクラブとして取り組むことに



シェルターボックス

した。この間の活動は河北新報・NHK・読売新聞等に掲載された。それは直接被災者の声を聴くことによってできたことだった。

地震発生から10日間は公的なものは何も来なかった。その後自衛隊がカップめんを30個、サトウのごはんを20個運んできた。これで生きなければならなかった。支援の物資が集まるには避難所によって差がある。有り余るような支援物資を行政の担当者が在庫の管理をしているだけで、必要なところに必要なだけ届けるような努力をしているようには思えない。どこの避難所に何人いて、その避難所では何が不足しているのか3週間たってもわからない。そのような状況であるという話は各地で聞かれた。

米軍と自衛隊には賞賛の声が多い。女川には地震から3日目で米軍が、6日目に自衛隊が入った。彼らは瓦礫を撤去し道路を復旧してくれた。0.5車線だった道路が2車線になり物資を運ぶ手段が楽になった。

このような説明を被災地に行く道中で阿部会員から聞かされた。

11:00メトロポリタン仙台を出発し、東北道・仙台北部道路と進み成瀬東松島ICから一般道に入った。仙台の市街地も少し離れたところも、若干瓦が落ちた家もあったが地震の影響はほとんど見られなかった。東日本大震災というには既に平常時に戻っているように見えた。

高速を降りて一般道に入りしばらく走ったがその景観はあまり変わらなかった。ところがいくつ川なのか運河なのか橋を越えたときに、突然目の前の景色が一変した。それはテレビなど報道で見たような様相でありながら、はるかにリアルな言葉にならないようなものだった。津波の影響も様々で万石浦のあたりはほとんど影響がなかった。



避難所から海方向

女川町立女川第3小学校御前分校に到着したのは14:00だった。当初90人が避難していたが現在は45人ということだった。

年配の人が多く男性は漁師または半分漁師の人が多いようだった。小さい子供がいる家庭は学校のこともあり、地域を離れていくが年配の人は現地を離れようとしないし、現在離れている人も落ち着いたなら戻りたいという。

保福禅寺では比較的多くの支援物資が届いているようだった。印象的だったのは、被災者の人たちが届いた支援物資を我先にと必要以上に持ち去るのではなく、整然と必要なものだけ受け取るところが、このような状況の中でも、このような状況だからなのか他人を思いやる気持ち働くものだなと思えたことだった。



避難所のすぐ目の前の海
海の底はガレキの山とのこと

最後に女川町総合体育館を訪問した。ここは何度も報道で見た記憶がある。自衛隊の支援拠点の一つとなっているところで、自衛隊の輸送車・設営などかなりの規模だった。徳島の隊なのだろうか「弘法の湯」というお風呂を展開していて、男湯・女湯・ドライヤー使用所などきめ細やかなサービスを提供していた。ここではすべてに行きわたっているわけではないが、段



海側から山側に向かって

ボールで作られたパーティションで被災者が少しではあるがプライベートを確保していた。

この体育館のメインの場所はそれがあるがほかの部屋には全くない。それでもこれから長くこの場所での生活を余儀なくされる人たちには大切なものなのだという。

現地を視察し18:30頃にメトロポリタン仙台に帰った。夕食を兼ねて仙台青葉RCと協議の場をもった。

浦和中RCが友好クラブとして何ができるだろうか？と考えたときに現地のニーズは刻々と変化している中で、そのニーズにスピーディに对应していけるのはやはり現地の仙台青葉RCなので、我々としては金銭で支援していく体制をつくりたい。浦和中RCとして仙台青葉RCの口座に振り込みをしたいという意思を伝えた。

当クラブの小嶋会員からは仙台青葉RCの会員の職業などのリストを提出して欲しいという要望が出た。これはお互いの職業上で支援する可能性を模索することを目的としたもので、青葉クラブの早坂直前会長がそれについて責任をもって実行すると言ってくれた。

また、青葉クラブの大江会員からは義援金をガバナー会に振り込むと、今回はそれを被災した行政に均等に配分してしまったために、被害に遭った程度に差を生んでしまう結果となったことなどを教訓にし、できるだけ動いているところに預けるなど現地の情報をもとに配分するように、提言できるようならしてほしいということも意見としてでた。

いろいろな意見交換ができ、握手をし21:00に仙台の地を後にして帰路に着いた。



女川町 総合体育館避難所(2階)
ダンボールによるパーティションは
仙台青葉RCによる支援

東北・太平洋沖大地震直後の「青春メッセージ」

北本ロータリークラブ



ローテックスの発表「留学で知った感謝と幸せの意味」

北本ロータリークラブは恒例の「青春メッセージ」を、未曾有の大地震・一週間後の3月19日(土)・午後1時半から、北本市文化センターで行いました。

この集いは、北本高校生・青少年交換留学生・ローテックスの若者たちと一般市民の方々との異世代による意見交換会です。

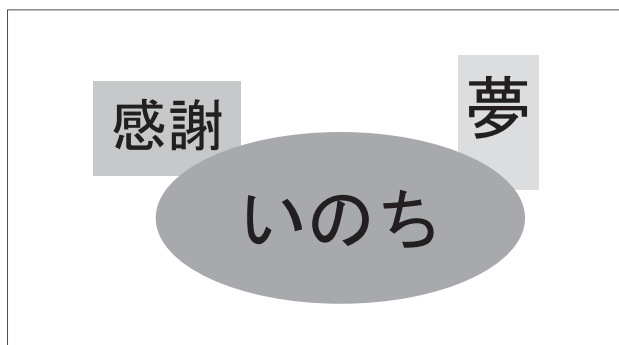
今年のテーマが「いのち・感謝・夢」と言う事もあり、敢えてこの時期に開催いたしました。被災者への黙禱に始まり、「今だから、生かされているいのちに感謝し夢を持って頑張ろう」との会長の挨拶の後、素晴らしい討論が行われました。

この日は、計画停電の時間は間逃れたものの節電協力のため、部屋の照明・暖房は使用でき



デンマークからの交換留学生：ミケル君
「日本が好きだから災害直後の今は帰らない！」

ず来場者の方々にはご迷惑をかけたが、津田バスターガバナーご夫婦・小畑G補佐や多くの一般の方々にご出席をいただき3時間半にわたり、第一部では若者たちの主張を聞き、二部の意見交換会では異世代間での活発な討論会でした。



今年のテーマ



在校生が先輩(卒業生)と「女5人で夢を追った！」



会場には保護者や市民の方々が若者の発表に聞き入った



2640地区からの支援物資

2640地区（大阪府南部・和歌山）の支援物資が井橋DGの本社に届きました。

2820地区（茨城）の山崎DG他3名が受け取りに見えて、無事、被災地に届けられました。



東日本大震災義援金募金活動について（報告）

インターアクト委員会 委員長 萩原 秀咲（岩槻東RC）

県立岩槻商業高校インターアクトクラブでは街頭募金活動を3月28日、29日の2日間午前7時30分より8時30分まで岩槻駅前において開催しました。この発端は日韓交換の中止により返還された参加会員の登録料を基金として募金活動が企画されました。



会員増強 “今から、ここから!!” カウントダウン

	ガバナー補佐	目標	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	目標まであと
第1グループ	佐伯 鋼兵(浦和南)	23	4	3	0	1	0	0	0	1	0	9	14
第2グループ	篠原 唯史(浦和北東)	23	8	1	1	2	0	2	1	0	2	17	6
第3グループ	野原 哲夫(さいたま樺)	37	10	2	3	3	1	3	0	3	2	27	10
第4グループ	小野寺 芳彦(大宮北東)	37	4	0	2	2	0	6	2	6	3	25	12
第5グループ	小畑 正勝(鴻巣水曜)	34	3	1	3	1	0	1	2	0	1	12	22
第6グループ	大宮 英男(春日部南)	29	4	1	3	0	1	0	0	0	0	9	20
第7グループ	石井 明(幸手中央)	27	1	2	1	2	0	0	0	2	2	10	17
第8グループ	神谷 治善(越谷南)	38	6	3	2	1	2	2	2	3	2	23	15
第9グループ	牛山 信康(草加)	35	3	3	1	0	1	0	1	0	2	11	24
第10グループ	小島 朗(松伏)	25	2	1	0	2	0	0	0	0	0	5	20
第11グループ	江口 正史(川口南)	29	2	2	5	0	0	0	1	0	1	11	18
第12グループ	遊馬 幸義(蕨)	31	4	2	1	2	0	1	2	4	0	16	15
合 計		368	51	21	22	16	5	15	11	19	15	175	193